

# 医療への刑事介入が臨床研究を萎縮させている

岸 友紀子（自治医大）  
小原まみ子（亀田総合病院）  
上 昌広（東大医科研）

Service Menu

- 医中誌ホーム
- 取載誌検索
- SDIサービス
- 管理者メニューへ
- HELP

HOME

BASIC

ADVANCED

CLIPBOARD

書誌確認

終了

検索対象年 …… 2002～2007 | [変更](#) |

検索履歴

< 2002 - 2007 >

No.	検索式	件数

AND

履歴検索を実行

絞込み検索へ

選択した履歴を削除

すべて

検索語を入力

新規検索

検索語入力

検索

統制語への案内  下位語も含む

1ページあたりの表示件数 30件

▼ 候補語辞書の参照 (開閉)

▼ 検索対象の限定 (開閉)

論文の属性  抄録あり  特集  症例報告  症例報告

論文種類  原著論文  解説  総説  会議録除く

検索対象データ

取載誌発行年  指定なし 年 ~  指定なし 年

分類  看護  歯学  獣医学 (2003年～)

研究デザイン  メタアナリシス(1999年～)

ランダム化比較試験(1999年～)

準ランダム化比較試験(1999年～)

比較研究(2003年～)

診療ガイドライン(1999年～)

症例報告に限定する場合はここにチェックを入れる

2007年を調べる場合は両方に2007と入れる

## ▼ 出力設定 (開閉)

このページ …… [すべてチェック](#) [すべてクリア](#)

1 2 3 4 5 &gt;&gt; 2647

 1 [HA29480042<Pre 医中誌>](#)

浅側頭動脈よりの逆行性超選択的動注療法を施行した上顎歯肉癌の2例  
血流改変術や術前血管塞栓術の併用(原著論文/抄録あり)

Author: 丹下和久(春日井市民病院 歯科口腔外科), 福田幸太, 比嘉輝夫

Source: 頭頸部癌(1349-5747)33巻3号 Page418-423(2007.10)

 2 [HA29480035<Pre 医中誌>](#)

TPFL-セファランチン療法に放射線治療を併用し、著効を得た顎下腺原  
発扁平上皮癌の胸鎖関節部転移の1例(原著論文/抄録あり)

Author: 和田健(和歌山県立医科大学 歯科口腔外科学講座), 中谷現, 根  
来健二, 平石幸裕, 藪田達雄, 東條格, 藤田茂之

Source: 頭頸部癌(1349-5747)33巻3号 Page380-384(2007.10)

 3 [HA29480010<Pre 医中誌>](#)

頭頸部領域の非扁平上皮癌に対する炭素イオン線治療(原著論文/抄録  
あり)

Author: 長谷川安都佐(放射線医学総合研究所重粒子医科学センター病  
院), 溝江純悦, 辻井博彦, 高木亮

Source: 頭頸部癌(1349-5747)33巻3号 Page260-264(2007.10)

月毎の報告数はここをカウント

# 総論分数の検索

医中誌WEB ichushi.web INFO ICHUSHI  
Japana Centra Revuo Medicina

HOME BASIC **ADVANCED** CLIPBOARD 書誌確認 終了

検索対象年 ..... 1983~2007 | [変更](#) |

**書誌確認**

各年の総論分数を調べるにはここに年数を入力

月毎の総論分数を産出するには年数とともにこちらに月数を入力

一致検索は、検索語を[ ]で囲みます。例：[鈴木裕]  
辞書の参照]

発行年月 年 月  
※検索対象年は画面右上に表示されている年代になります  
※全年等に変更する場合は画面右上の変更リンクをクリックしてください

指定なし 年 指定なし 月

※検索対象年は画面右上に表示されている年代になります  
※全年等に変更する場合は画面右上の変更リンクをクリックしてください

巻・号・開始頁 巻 号 開始頁

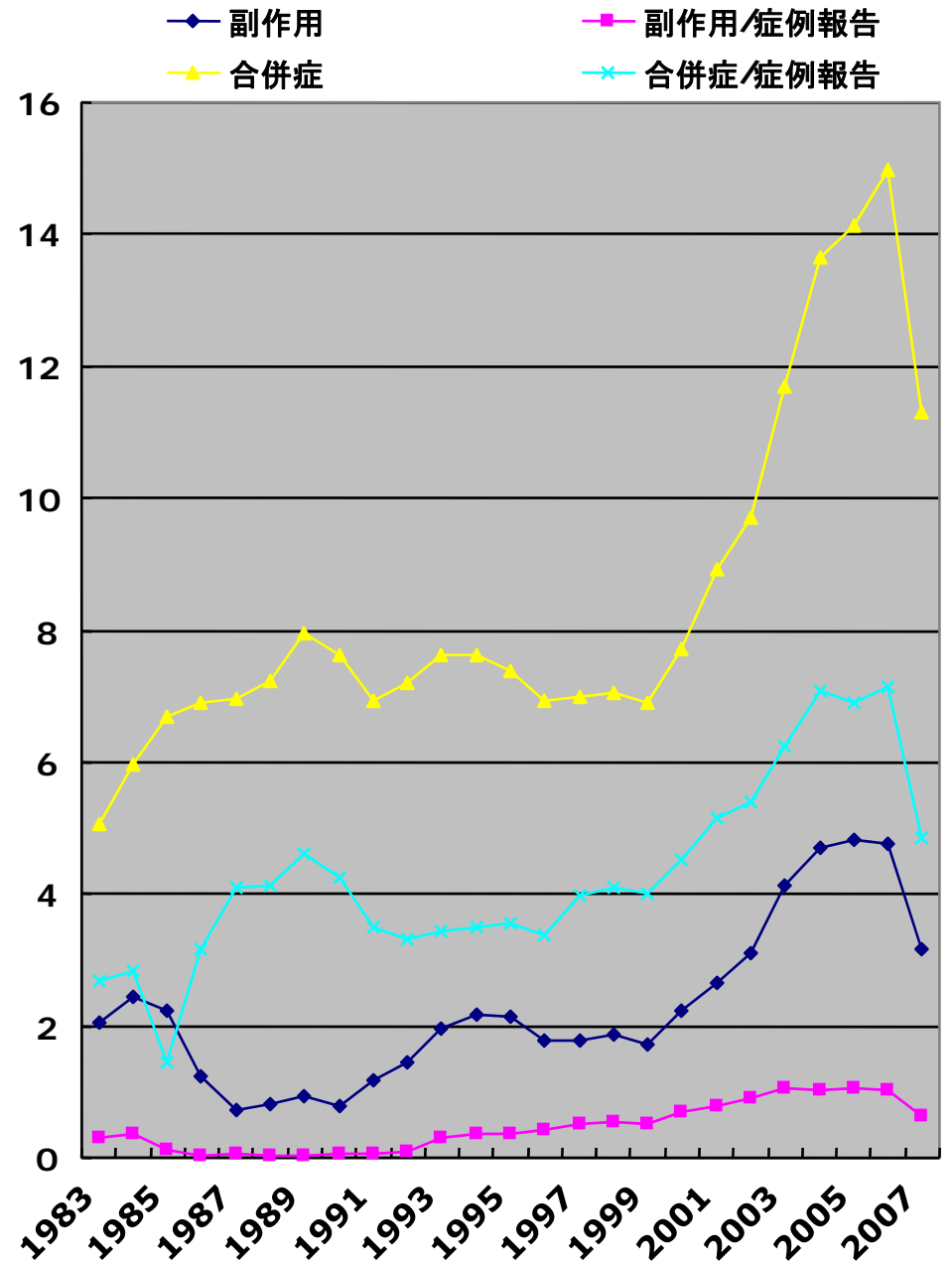
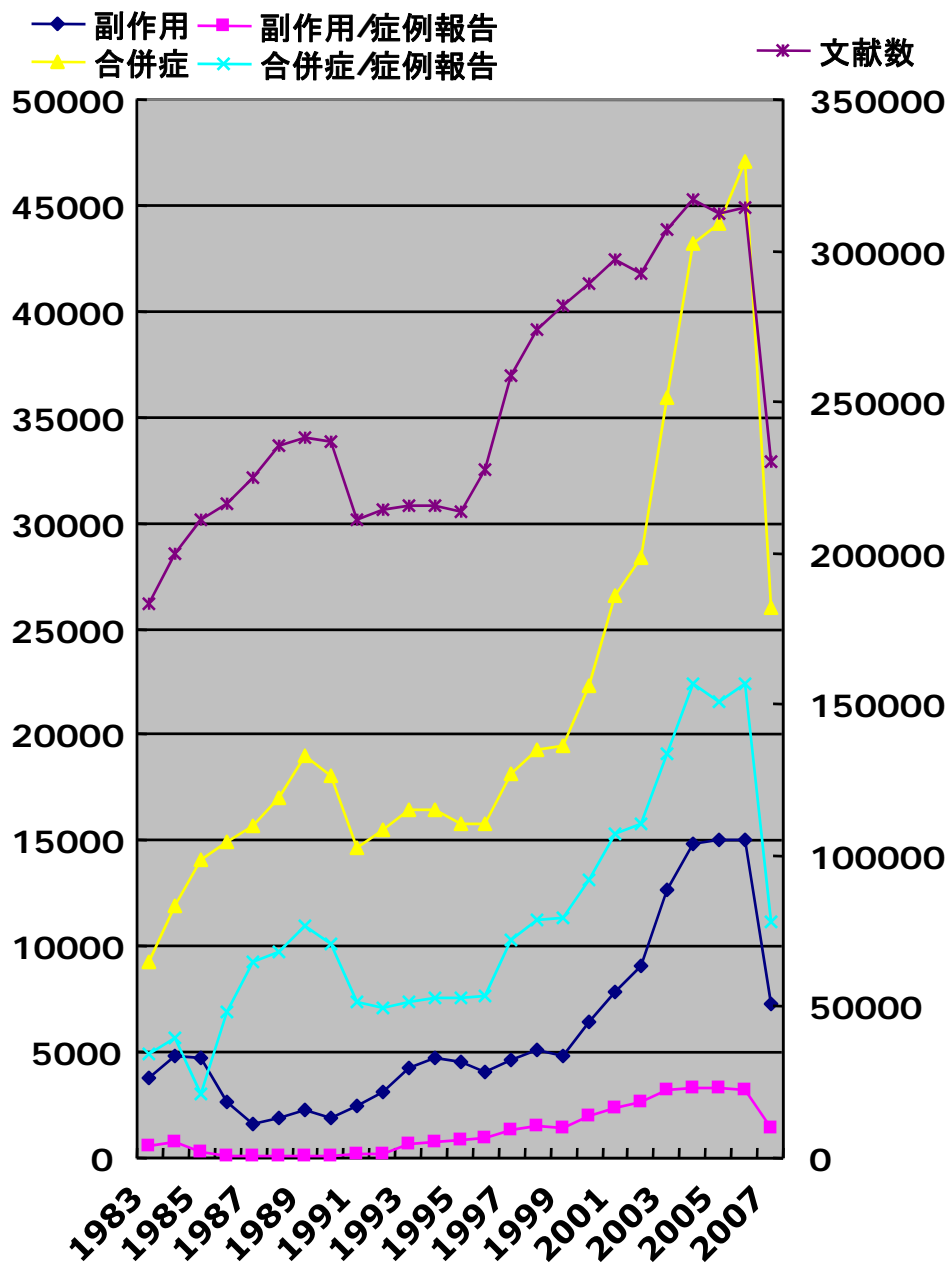
著者名   
 筆頭著者に限定  最終著者に限定  
※姓と名の間にはスペースをいれずに検索してください。  
※完全一致検索は、検索語を[ ]で囲みます。例：[鈴木裕]

タイトル中のキーワード

**検索**

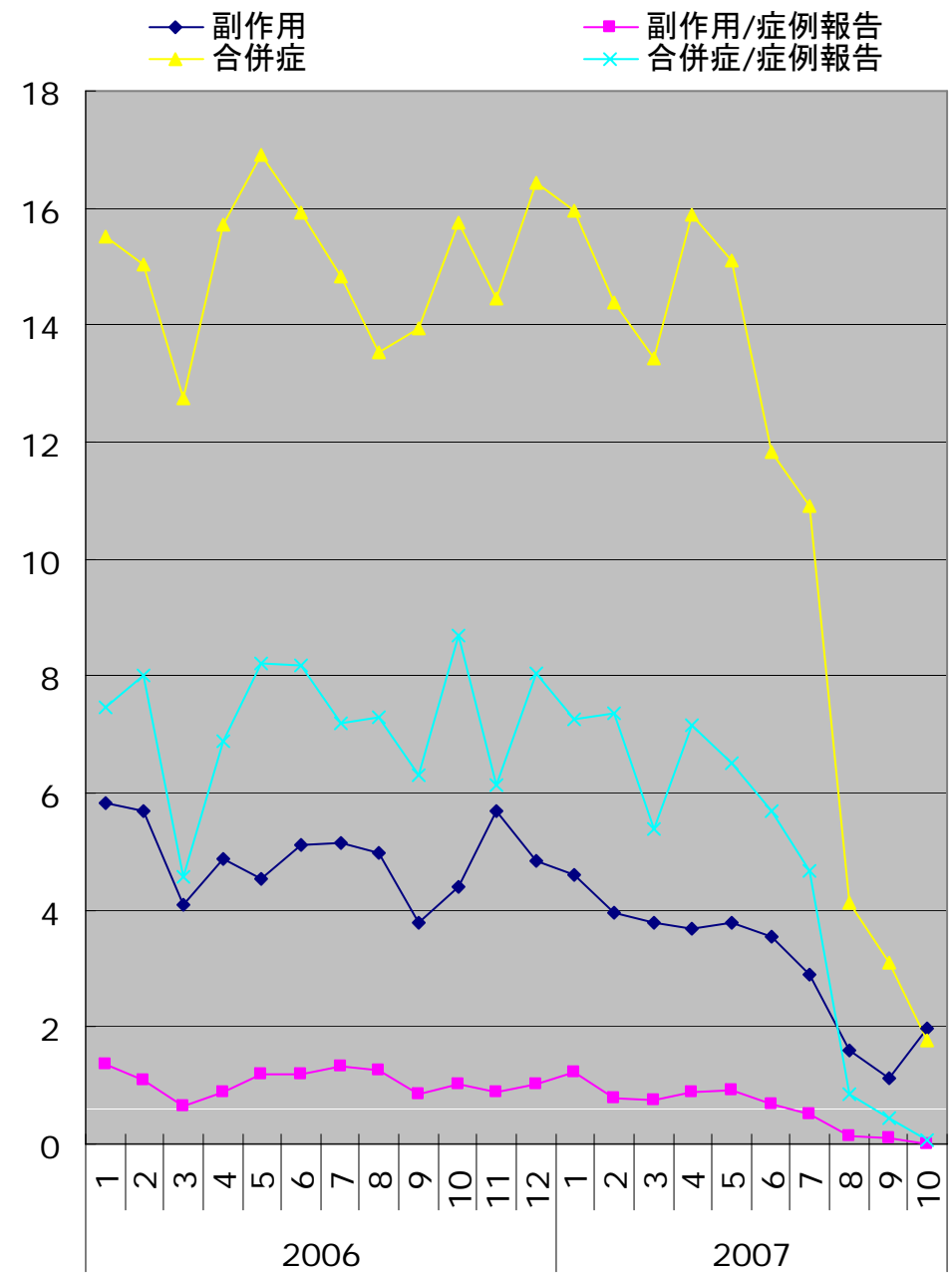
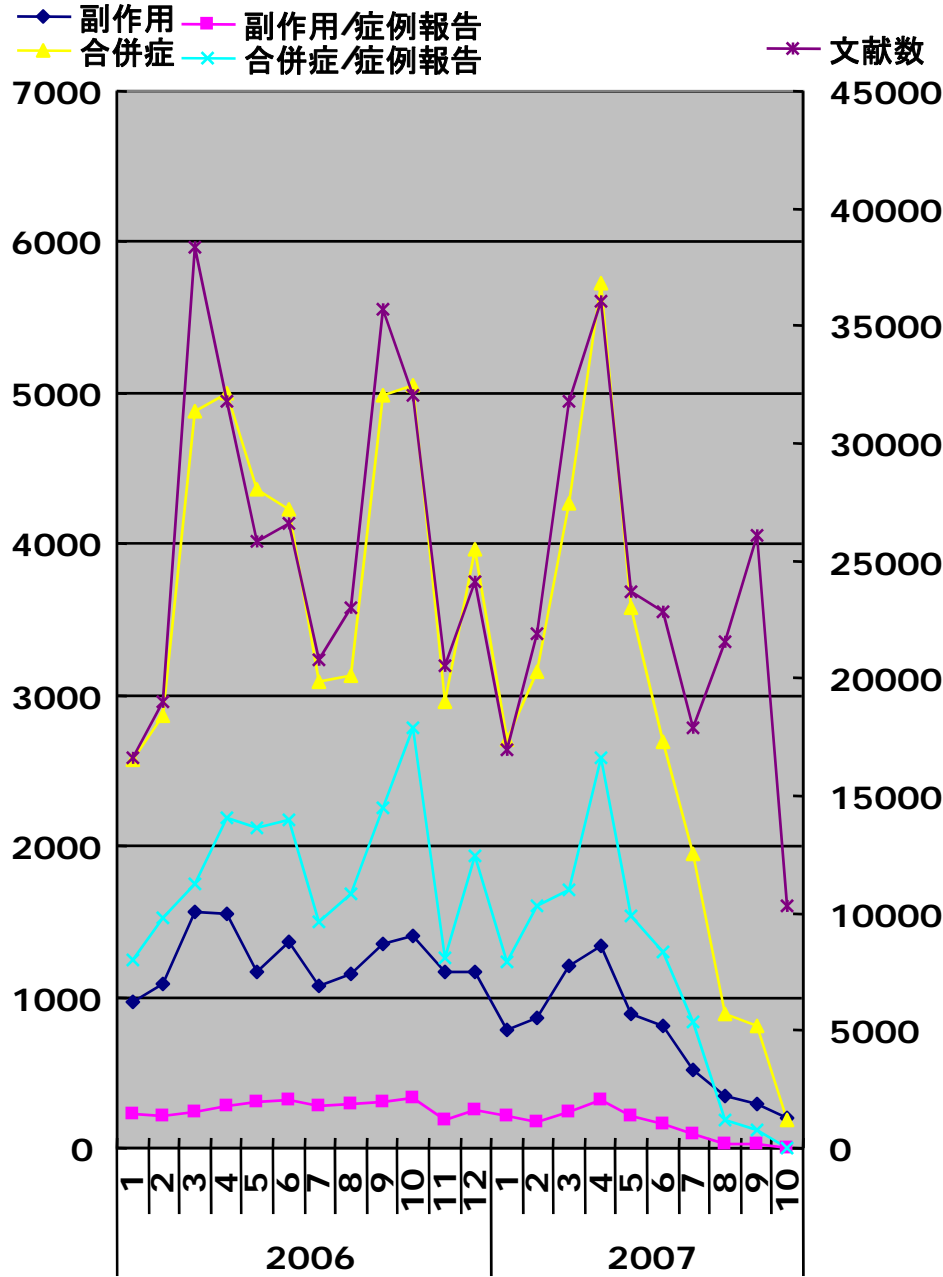
# 副作用 合併症 総文献数に対する割合

## 年別報告数の推移

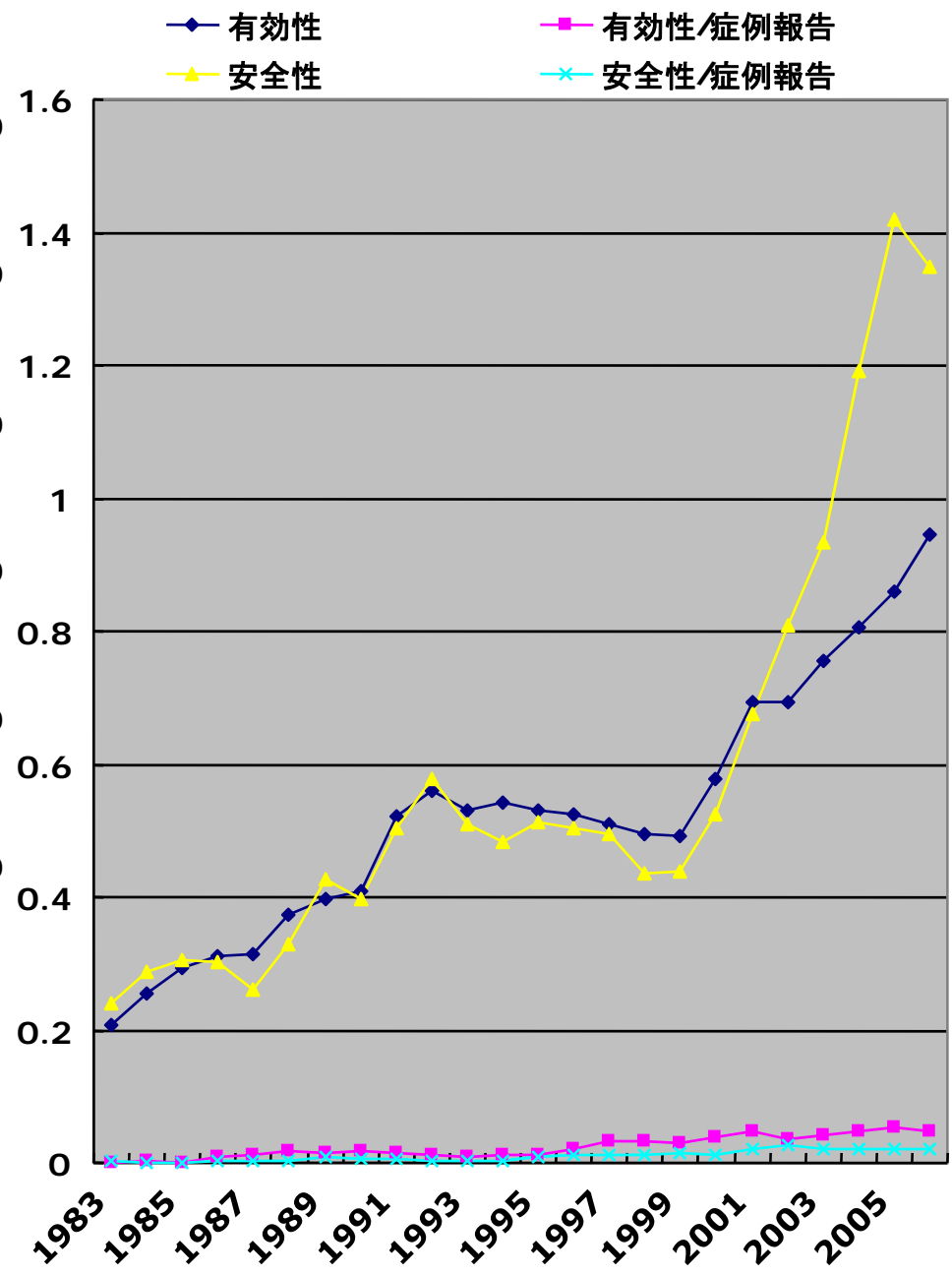
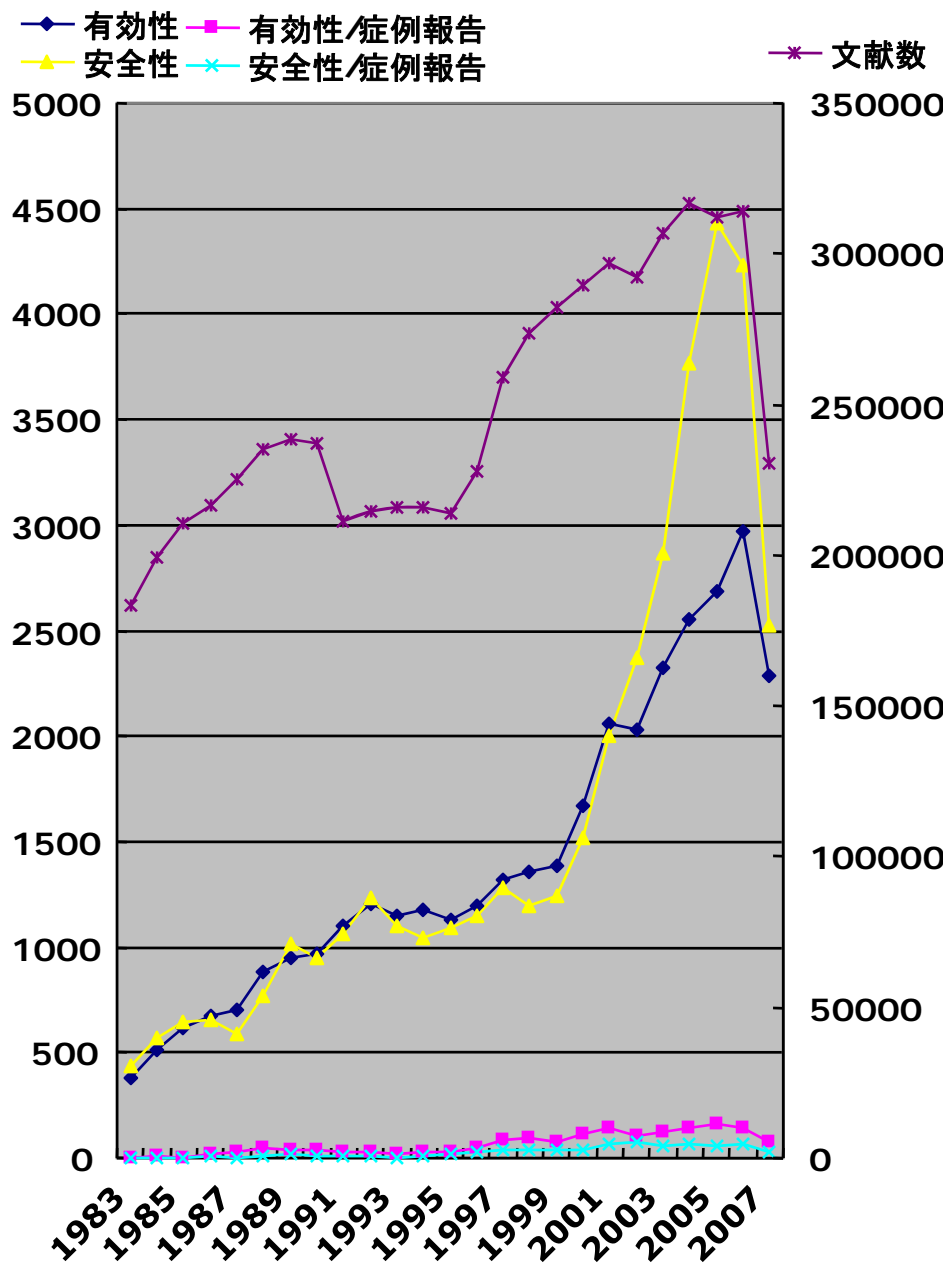


# 副作用 合併症 総文献数に対する割合

## 月年別報告数の推移

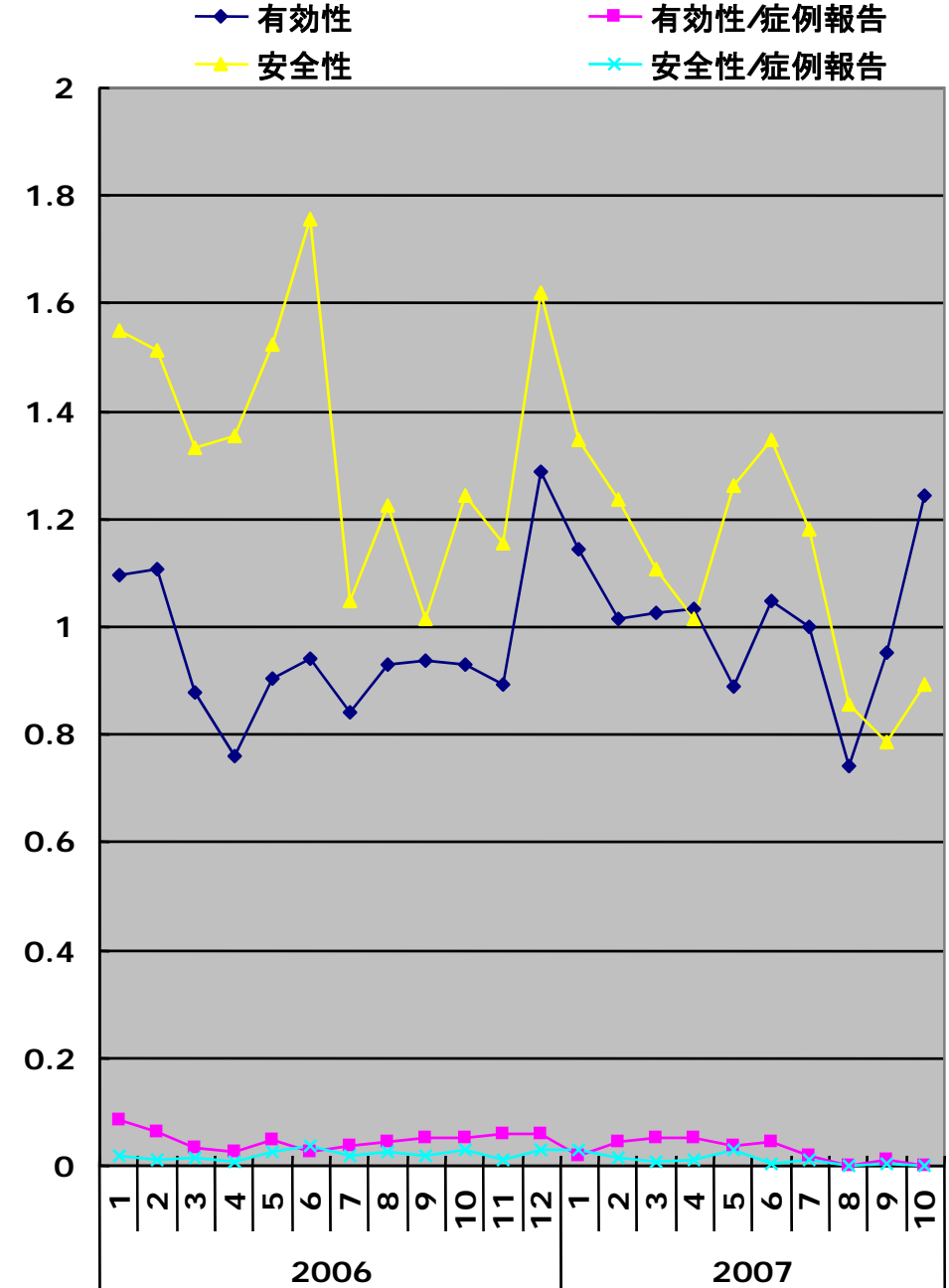
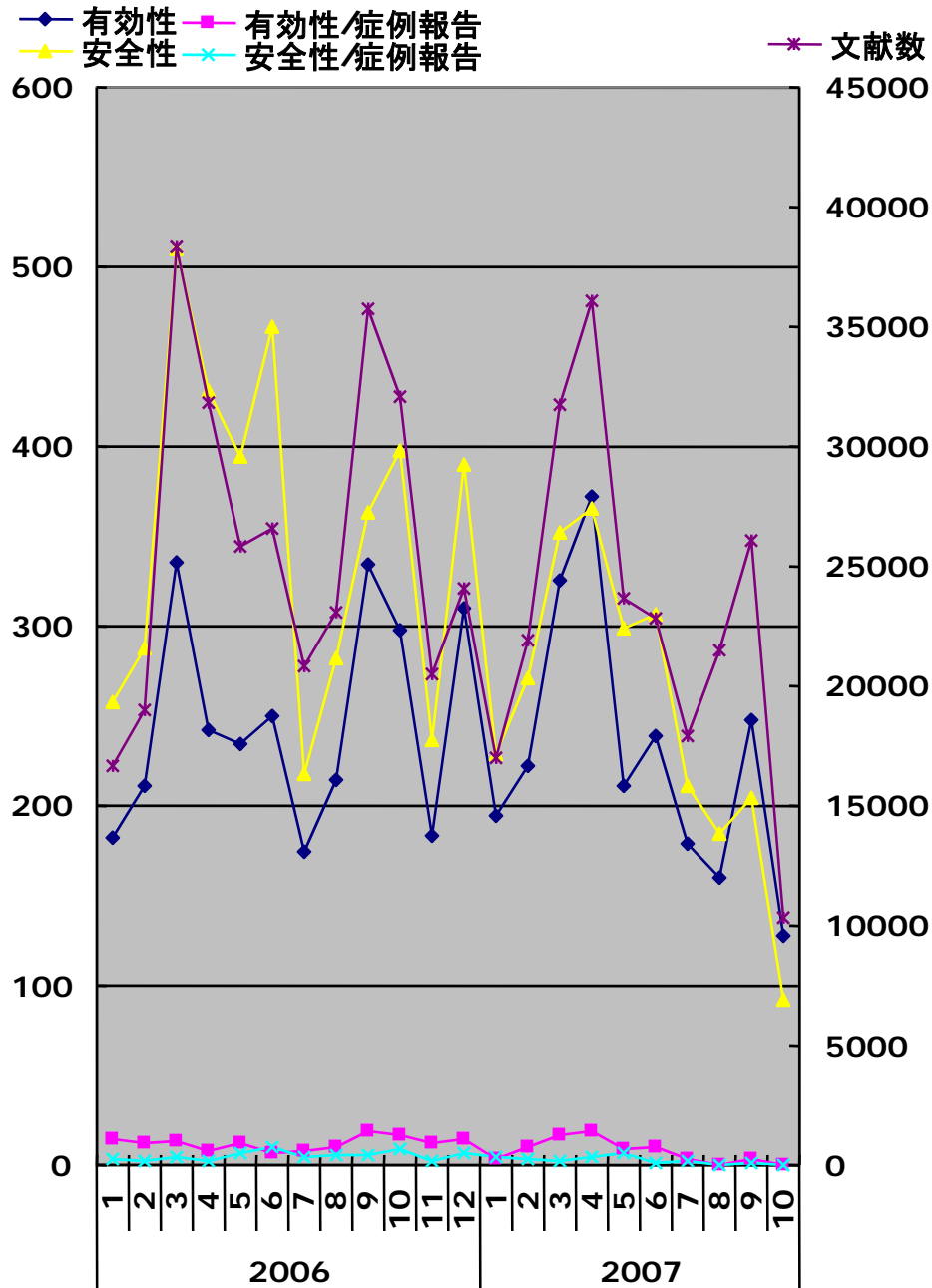


# 年別報告数の推移 有効性 安全性 総文献数に対する割合



# 月年別報告数の推移

# 有効性 安全性 総文献数に対する割合

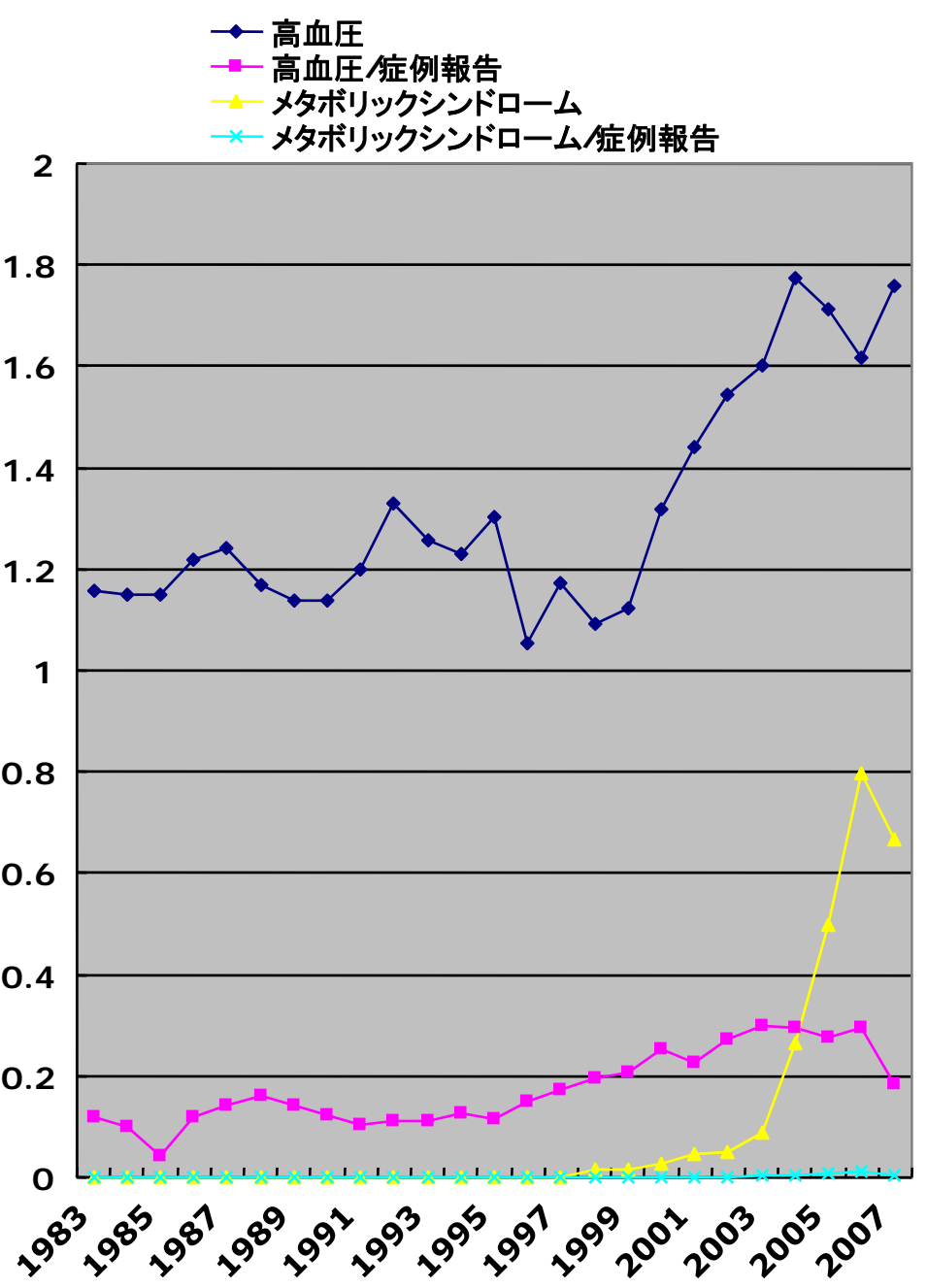
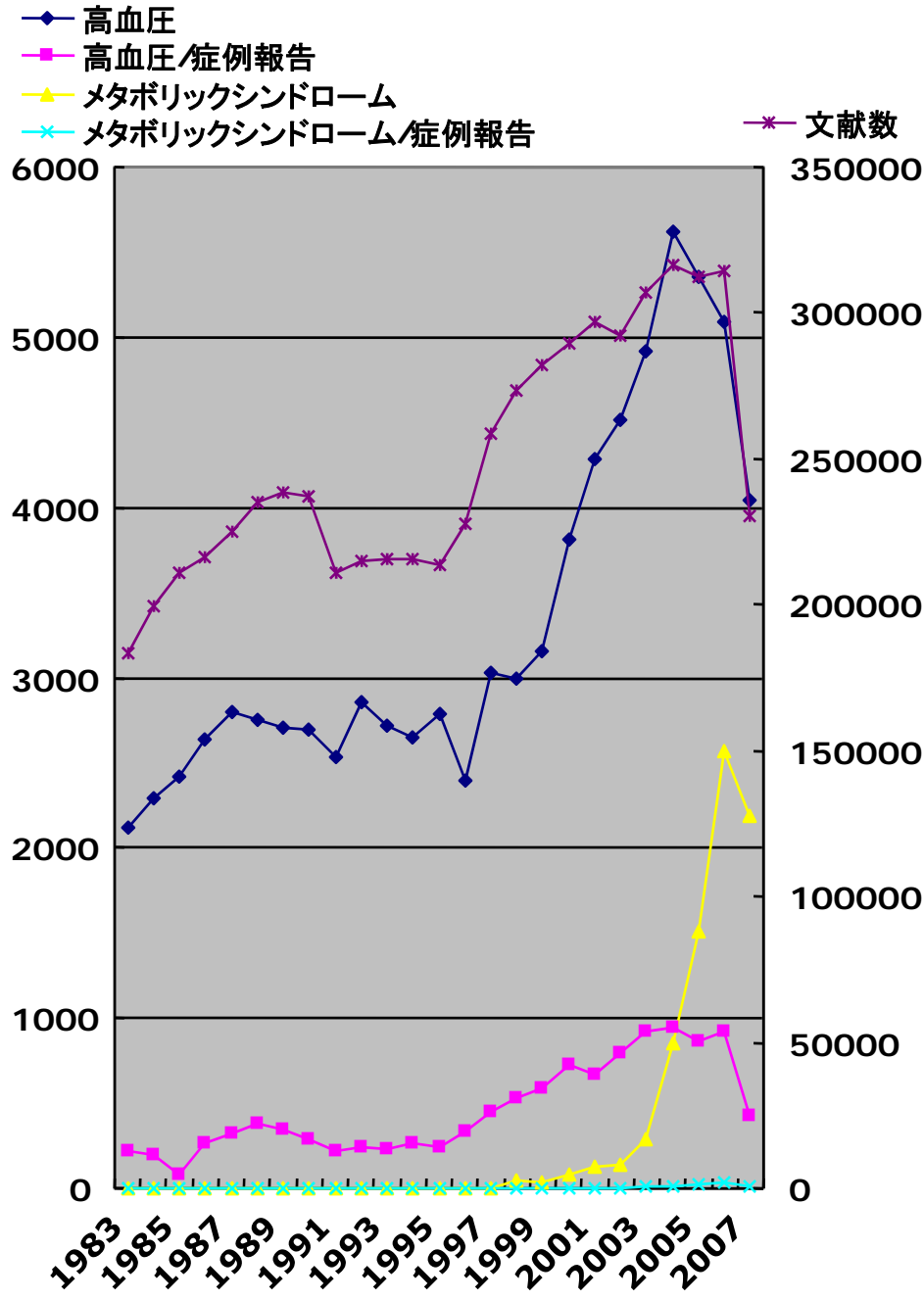




# 年別報告数の推移

# 高血圧 メタボ

# 総文献数に対する割合



# 月年別報告数の推移

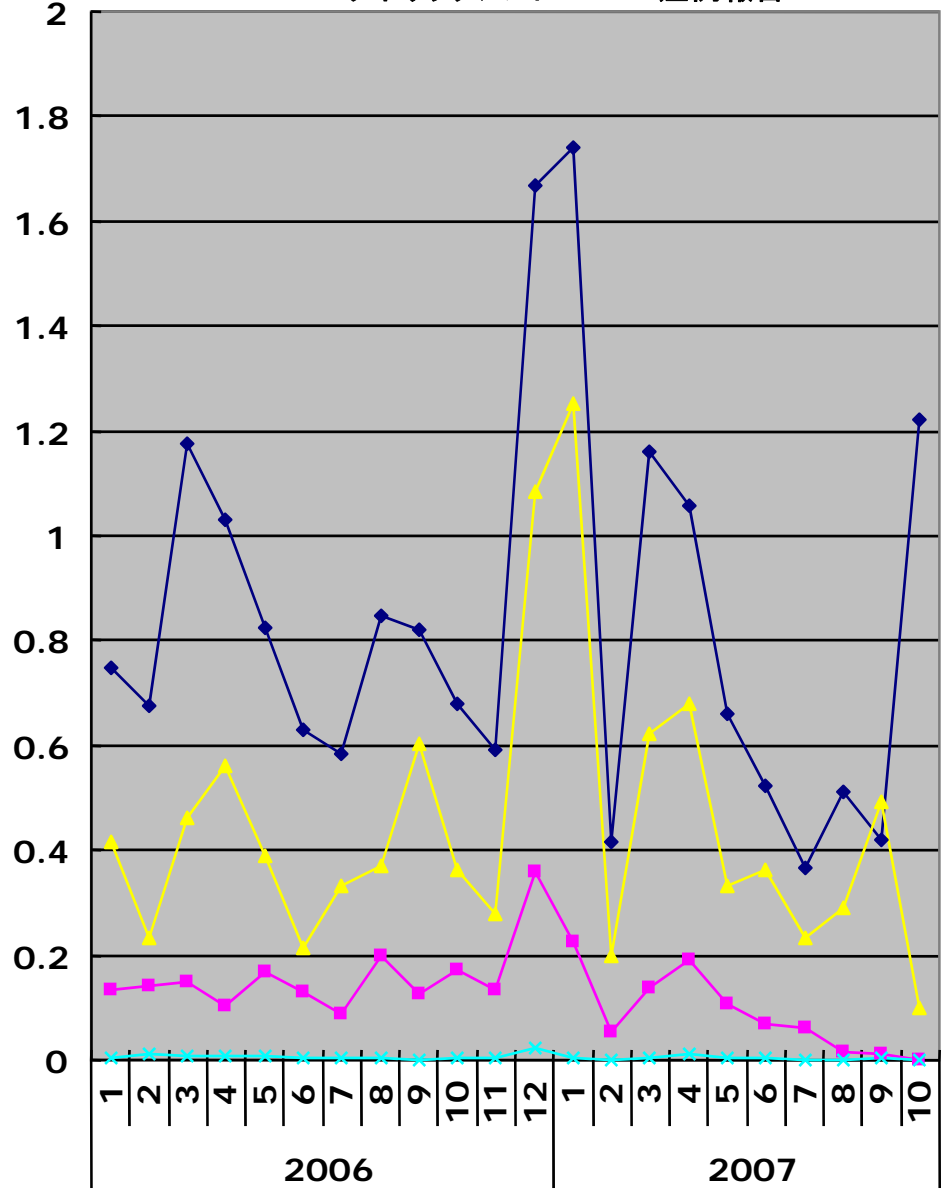
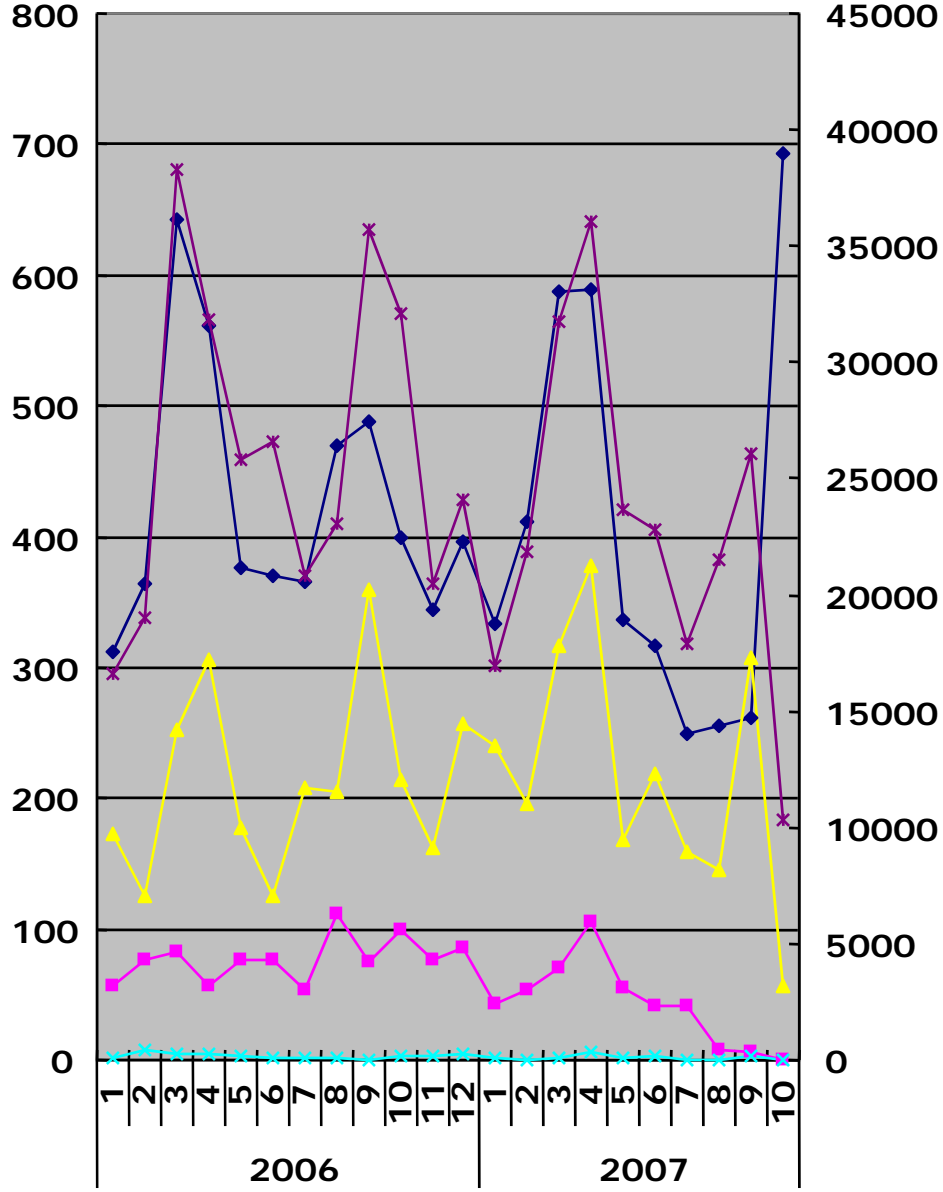
# 高血圧 メタボ

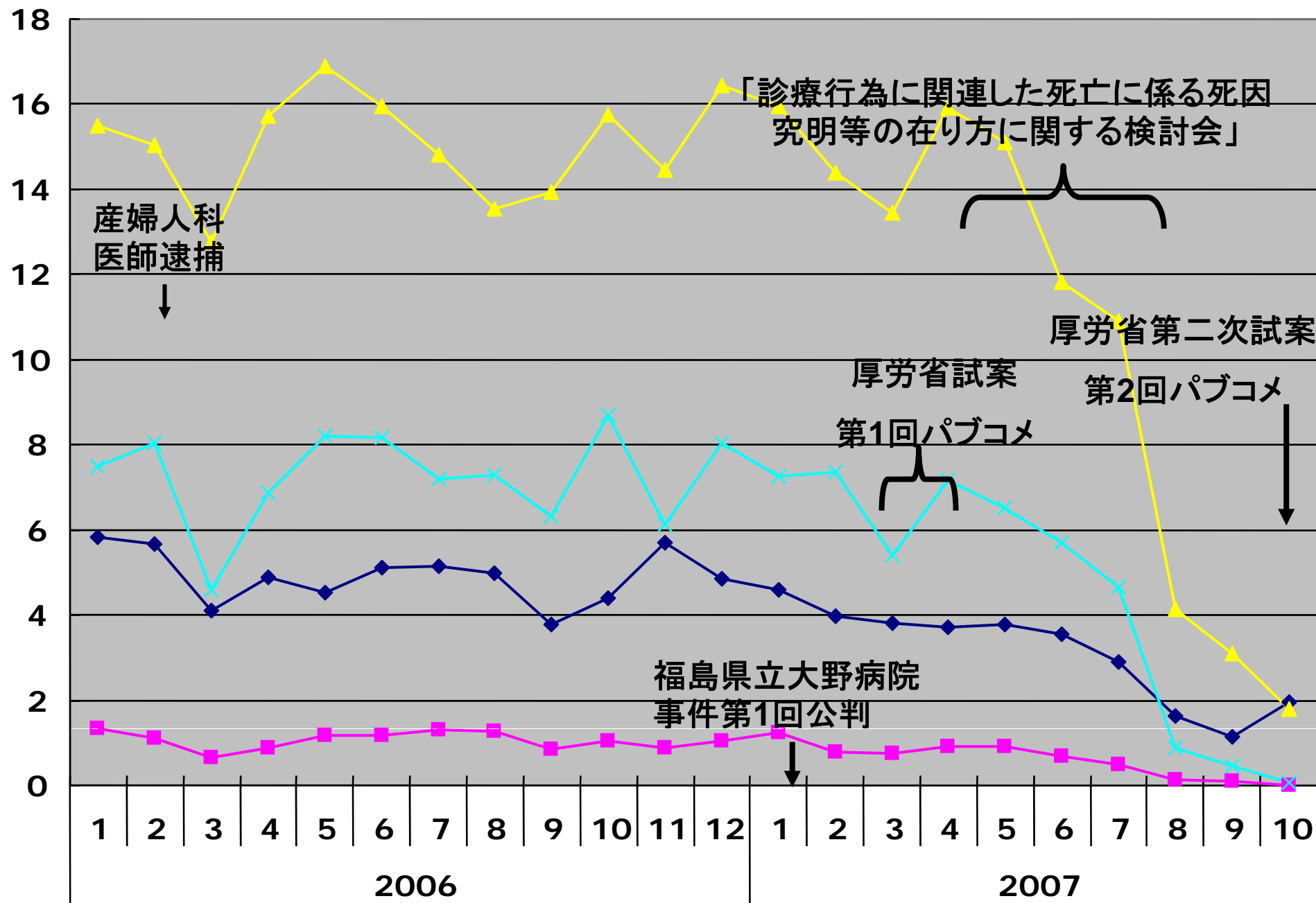
# 総文献数に対する割合

- ◆ 高血圧
- 高血圧/症例報告
- ▲ メタボリックシンドローム
- ✧ メタボリックシンドローム/症例報告

- ✧ 文献数

- ◆ 高血圧
- 高血圧/症例報告
- ▲ メタボリックシンドローム
- ✧ メタボリックシンドローム/症例報告





◆ 副作用      ■ 副作用/症例報告      ▲ 合併症      ✕ 合併症/症例報告

## 2ちゃんねる

# 厚労省の「試案」が通れば医療完全崩壊

## 勤務医の懸念

- CPCやって診断が困難だった〇〇の1例とか、非典型的経過をとった××の1例とかを世界の文献をしらべて準備して地方会で発表したりすると、国からよびだされて調査委員会が、その医師を再教育するようになるのか。

# 考察

- 2007年度後半になって、我が国では副作用や有害事象を報告した医学論文が激減している。これまで医療現場では、副作用や有害事象の症例報告の積み重ねを通じ、医療の安全性を向上させようと務めてきたが、この枠組みが崩れようとしている。
- 時期的にみて、厚労省の医療事故調に関する指針の中で医療事故・過失の厳罰化が打ち出された影響が強いと考えられる。医療者は、厳罰化のリスクを嫌い、法案成立前から、副作用や有害事象の公開を躊躇しているのであろう。しかしながら、このような状態が長く続けば、我が国の医学は進歩せず、国民は大きな被害を被ることが予想され、早急な対策が求められる。